



H コマンド

この章のコマンドは、Cisco MDS 9000 ファミリのマルチレイヤディレクタおよびファブリック スイッチに対応しています。ここでは、コマンドモードに関係なく、すべてのコマンドがアルファベット順に記載されています。各コマンドの適切なモードを確認するには、「[CLI コマンドモードの概要](#)」(p.1-3) を参照してください。詳細については、『*Cisco MDS 9000 Family CLI Configuration Guide*』を参照してください。

hash

Internet Key Exchange (IKE) プロトコル ポリシーのハッシュ アルゴリズムを設定するには、IKE ポリシー コンフィギュレーション サブモードで **hash** コマンドを使用します。デフォルトの設定に戻すには、コマンドの **no** 形式を使用します。

```
hash {md5 | sha}
```

```
no hash
```

シンタックスの説明	md5	Message Digest 5 (MD5) ¹ ハッシュ アルゴリズムを指定します。
	sha	Secure Hash Algorithm (SHA) ² を指定します。

1. MD5 = メッセージダイジェスト
2. SHA = セキュア ハッシュ アルゴリズム

デフォルト **sha**

コマンド モード IKE ポリシー コンフィギュレーション サブモード

コマンド履歴	リリース	変更内容
	2.0(x)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン このコマンドを使用するには、**crypto ike enable** コマンドを使用して IKE プロトコルをイネーブルにする必要があります。

例 次に、IKE プロトコルのハッシュ アルゴリズムを設定する例を示します。

```
switch# config terminal
switch(config)# crypto ike domain ipsec
switch(config-ike-ipsec)# policy 1
switch(config-ike-ipsec-policy)# hash md5
```

関連コマンド	コマンド	説明
	crypto ike domain ipsec	IKE コンフィギュレーション モードを開始します。
	crypto ike enable	IKE プロトコルをイネーブルにします。
	policy	IKE ポリシー パラメータを設定します。
	show crypto ike domain ipsec	IPSec ドメインの IKE 情報を表示します。

host

スイッチのオフライン状態、メインフレームのアクセス制御パラメータ、およびメインフレームのタイムスタンプパラメータを設定するには、**host** コマンドを使用します。この設定をディセーブルにするか、またはデフォルトの設定に戻すには、コマンドの **no** 形式を使用します。

```
host {control [switch offline] | port control | set-timestamp}
```

```
no host {control [switch offline] | port control | set-timestamp}
```

シンタックスの説明	control	Fibre Connection (FICON) のホスト制御を許可します。
	switch offline	ホストがスイッチをオフライン状態にして、ポートをシャットダウンできるようにします (デフォルト)。
	port control	FICON パラメータを設定できるようにホストをイネーブルにします。
	set-timestamp	ホストにディレクタクロックを設定させます。

デフォルト

ホスト オフライン制御はイネーブルです。

コマンドモード

FICON コンフィギュレーションモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
1.3(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

デフォルトでは、各 VSAN (仮想 SAN) のクロックはスイッチのハードウェアクロックと同一です。メインフレームユーザは VSAN クロックを変更できます。

例

次に、メインフレームユーザがスイッチをオフライン状態にすることを禁止する例を示します。

```
switch# config terminal
switch(config)# ficon vsan 2
switch(config-ficon)# no host control switch offline
```

次に、ホストがスイッチをオフライン状態にして、ポートをシャットダウンできるようにする例を示します。

```
switch(config-ficon)# host control switch offline
```

次に、メインフレームユーザが、Cisco MDS スイッチ内の FICON パラメータを設定することを禁止する例を示します (デフォルト)。

```
switch(config-ficon)# no host port control
```

次に、メインフレームユーザが、Cisco MDS スイッチ内の FICON パラメータを設定することを許可する例を示します。

```
switch(config-ficon)# host port control
```

次に、メインフレームユーザが、特定の VSAN のクロックを変更することを禁止する例を示します。

```
switch(config-ficon)# no host set-timestamp
```

次に、ホストがこのスイッチのクロックを設定できるようにする例を示します (デフォルト)。

```
switch(config-ficon)# host set-timestamp
```

関連コマンド

コマンド	説明
show ficon	設定された FICON の詳細を表示します。
ficon vsan <i>vsan-id</i>	指定の VSAN (仮想 SAN) 上で FICON をイネーブルにします。

hw-module logging onboard

On-Board-Failure Logging (OBFL; オンボード障害ロギング) を設定するには、**hw-module logging onboard** コマンドを使用します。この機能をディセーブルにするには、コマンドの **no** 形式を使用します。

```
hw-module logging onboard [module slot] [log-type]
```

```
no hw-module logging onboard [module slot] [log-type]
```

シンタックスの説明

module slot	指定したモジュールの OBFL を設定します。
log-type	OBFL 用のイベントの種類を指定します。
cpu-hog	cpu hog イベントを指定します。
environmental-history	環境履歴イベントを指定します。
error-stats	エラー統計情報イベントを指定します。
interrupt-stats	割り込み統計情報イベントを指定します。
mem-leak	メモリ リーク イベントを指定します。
miscellaneous-error	各種情報イベントを指定します。
obfl-log	ブート時間、デバイスバージョン、および OBFL 履歴を指定します。

デフォルト

イネーブル

コマンドモード

コンフィギュレーションモード

コマンド履歴

リリース	変更内容
3.0(1)	このコマンドが導入されました。

使用上のガイドライン

OBFL データはモジュールの揮発性ロギング機能を使用して、コンパクトフラッシュメモリにデータを格納します。OBFL がディセーブルの場合は、揮発性ロギング機能によりロギングのために送信されたすべてのエントリが廃棄されます。

例

次に、モジュール 2 でのメモリ リーク イベントの OBFL を設定する例を示します。

```
switch# config terminal
switch(config)# hw-module logging onboard module 2 mem-leak
```

関連コマンド

コマンド	説明
clear logging onboard	OBFL 情報を消去します。
show logging onboard	OBFL 情報を表示します。

